

富山県富山市

【目指す中心市街地の都市像】

中心市街地活性化基本計画

魅力的な都市空間を舞台に、未来を担う人材が生まれ、笑顔あふれる活力あるまち

【4期計画：令和4年4月～令和9年3月】

【富山市の概要】 人口412,901人(令和3年3月末住民基本台帳)、面積1,241.77km²

・江戸期に富山藩10万石の城下町として形成。戦後期には戦災復興土地区画整理事業等による道路整備や区画整理が進捗し、現在の中心市街地が形成され、官庁や商店街、事業所等が集積。平成17年に7市町村合併。

【中心市街地の課題等】

1) 富山駅北地区も含めた回遊性の強化

利便性の高い市内電車があるものの賑わいの中心が富山駅南側や中心商業地区に偏っており、富山駅北への回遊性が弱い。

2) 空き店舗等の既存ストックの活用

再開発事業等により新たな賑わい施設が整備された一方、商店街では依然として空き店舗等が多く、歩行者通行量は伸び悩んでいる。

3) 居住人口減少速度の緩和と高齢化の進行

中心市街地は、本市の中でも居住人口の自然減の割合が高い。また、市全体と比べて高齢者の割合が高く、かつ健康な高齢者の割合が低くなっている。

【中心市街地活性化の方針】

【基本方針①】公共交通ネットワークの活用と良質な都市空間の形成による回遊性の高い中心市街地の形成

富山駅北地区において、ブルバールの再整備や中規模ホールの建設等による魅力的な都市空間の創出に取り組むとともに、南北接続し利便性が向上した市内電車沿線にある広場等との連携により、回遊性の強化を図る。

→目標：来街者が回遊する魅力的な都市空間の創出【市内電車一日平均乗車人数】 全25事業

【基本方針②】まちなかの既存ストックを活用した創業・起業・チャレンジが生まれる中心市街地の形成

商業者や地域住民等が主役となって、行政と連携しながら、商業・賑わいの再生に取り組み、更なる活性化を図ることにより、魅力ある歩きたくなるまちを目指す。

→目標：商業・賑わいの再生による活力ある歩きたくなるまち【中心商業地区及び富山駅周辺地区の歩行者通行量(日曜日)】※地点追加 全25事業

【基本方針③】すべての世代がそれぞれのライフステージに応じて、幸せに暮らせる中心市街地の形成

居住人口の維持・増加を図るため、まちなかでの住宅取得等に対する支援を行うほか、多世代が居心地よく、安心・安全で健康に暮らすことができるまちづくりを推進する。

→目標：多世代が集い、良質な暮らしを享受できるまち【中心市街地の居住人口の社会増、中心市街地の健康な高齢者の割合】 全12事業

【新計画目標】

目標	目標指標	基準値	推計値	目標値
来街者が回遊する魅力的な都市空間の創出	市内電車一日平均乗車人数	20,429人/日(R元)	21,127人/日(R8)	21,500人/日(R8)
商業・賑わいの再生による活力ある歩きたくなるまち	中心商業地区及び富山駅周辺地区の歩行者通行量(日曜日) ※地点追加	51,577人(R元)	46,056人(R8)	53,000人(R8)
多世代が集い、良質な暮らしを享受できるまち	中心市街地の居住人口の社会増	113人増/年(H17-R元)	113人増/年(R3-R8)	113人増/年(R3-R8)
	中心市街地の健康な高齢者の割合	前期高齢者95.9%(R元) 後期高齢者63.7%(R元)	前期高齢者96.0%(R8) 後期高齢者62.3%(R8)	前期高齢者96.3%以上(R8) 後期高齢者63.7%以上(R8)

【前期計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値※【】は目標値の達成状況
公共交通の強化と魅力ある都市空間の創出	路面電車(市内電車及び富山ライトレール)一日平均乗車人数	19,193人/日(H27)	20,000人/日(R3)	15,201人/日(R2) 【未達成】
伝統と革新が融合した商業・賑わいの再生	中心商業地区及び富山駅周辺地区の歩行者通行量(日曜日)	44,374人(H27)	46,000人(R3)	34,005人(R2) 【未達成】
誰もが生き生きと暮らし活躍している選ばれるまち	中心市街地の居住人口の社会増加	74人増/年(H17-27)	74人増/年(H28-R3)	285人増/年(H28-R2) 【達成】
	中心市街地の健康な高齢者の割合	前期高齢者95.5%(H27) 後期高齢者62.9%(H27)	前期高齢者95.6%以上(R3) 後期高齢者62.9%以上(R3)	前期高齢者96.1%(R2) 後期高齢者63.1%(R2) 【達成】

富山市中心市街地活性化基本計画の事業概要

公共交通ネットワークの活用と良質な都市空間の形成による回遊性の高い中心市街地の形成
(来街者が回遊する魅力的な都市空間の創出)

①ブルバール等再整備事業

富山駅周辺地区において、路面電車の南北接続を契機に、富山駅北の賑わいを創出するため、ブルバール(※)の再整備やイベント等の社会実験を実施し、回遊に資する魅力的な都市空間の形成を図る。

※「市道富山駅北線」の通称。仏語で、「街路樹や側道を備えた広い道路」のこと。



②中規模ホール整備官民連携事業

富山駅北のオーバード・ホール(※)北側に、市民が演劇や伝統芸能などの多様な芸術文化に親しむことのできる中規模ホールを整備することにより、富山駅北の魅力を高め、賑わいを創出し、来街者の回遊を促進する。

※「富山市芸術文化ホール」の通称。



まちなかの既存ストックを活用した創業・起業・チャレンジが生まれる中心市街地の形成
(商業・賑わいの再生による活力ある歩きたくなるまち)

③富山市新規出店サポート事業

既存ストックの活用に向けた商店街の取組に対し支援するとともに、空き店舗等への新たな出店者等に対し、改装費や賃借料等の支援を行うことにより、商業・賑わいの再生を図る。

④中央通りD北地区第一種市街地再開発事業

市街地再開発事業により、商業施設等と共同住宅の複合施設を整備し、まちなか居住の促進による中心部への人口回帰と中心市街地の活性化を図る。



すべての世代がそれぞれのライフステージに応じて、幸せに暮らせる中心市街地の形成 (多世代が集い、良質な暮らしを享受できるまち)

⑤歩くライフスタイル推進事業

すべての世代がいつまでも健康に暮らせる活力あるまちづくりを実現するため、車に依存したライフスタイルから、公共交通を利用し歩いて暮らすライフスタイルへの転換を促す。例)「とほ活」アプリの運用、まちなかベンチの設置など



⑥シニアライフ講座運営事業

高齢者が余暇活動能力を身につけることにより、健康と生きがいを高めるため、公民館等を会場に、趣味活動・創造活動・健康活動のシニアライフ講座を開催する。